

ロボット支援下大腸癌手術におけるダブルバイポーラ(DBP)法の有用性の検討

◆ 研究の対象となる方

2023年1月1日から2025年8月31日までに済生会福岡総合病院外科で大腸癌の切除手術を受けられた方

◆ 目的・方法

大腸癌手術においてロボット支援下手術は急速に普及しています。

ロボット支援下手術は精緻な手術が可能な一方、治療コスト増加や学習曲線などの問題が存在しています。当科では、DBP法を導入すること(ダブルバイポーラ法:ロボット支援手術で電気メスの一種であるバイポーラ(両極性の電気メス)を用いること)で手技の効率化・コストダウンに取り組んでいます。その導入について短期成績が許容できるものかを検討することが目的です。

◆ 研究に使用する情報

年齢、性別、身長、体重、入院経過や合併症情報、臨床病理学的因子、術後経過など診療の中で得られた情報を使用します。

この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

◆ 個人情報の取り扱い

本研究の成果は学会等での公表を予定しておりますが、個人が特定されないよう加工した情報を用いますので、プライバシーは守られます。また、本研究以外の目的で使用することはありません。

◆ 研究への協力について

診療情報等が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象といたしません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することができます。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

問い合わせ先	福岡県済生会福岡総合病院 外科 藤本 禎明 住所:福岡市中央区天神 1-3-46 電話:092-771-8151(代表)
--------	---

以上